

北辰

TOKYO



岐阜県立多治見北高等学校同窓会
東京支部会報 第28号
2014年10月5日

今年も「多北東京」にぜひご参加ください!!

多治見北高等学校同窓会東京支部 会長 原田 英明 (12 回生)

暑さ涼しさの入れ替わりを繰り返しながら、それでも涼さがやがて寒さとも感じられる今日この頃です。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ところで、第 25 回目となる今年の多治見北高同窓会東京支部総会・懇親会は 11 月 15 日(土)に、女子栄養大学(東京・駒込)で開催いたします。昨年も本来は女子栄養大学で開催の予定でしたが、開催日前日の昼の段階で女子栄養大が使えない事態が発生しました。同大坂戸キャンパスでノロウイルス感染が発生、離れてはいるものの同じ学園ということで駒込キャンパスも閉鎖となったのです。私たちの総会・懇親会も一

ているとのことで、今回雪辱を期しての開催となります。

今年のフォーラムは「あなたの情報は狙われている! 守る術(すべ)はあるのか?」というテーマのもと、個人情報やネット、スマホなどのセキュリティ問題について、この分野の専門家である講師:高木浩光氏 [25 回生・(独) 産業技術



総合研究所 主任研究員 内閣官房情報セキュリティセンター 併任)、聞き手:長谷川隆氏 [25 回生・週刊東洋経済 前編集長] 他による鼎談形式での実施予定です。

ぜひ、昨年に続いて本年も多くの皆様のご参加をお待ちしています。

私たち東京同窓会(多北高同窓会東京支部)は 1990 年に設立され、会員数約千人で年に一度の総会懇親会の開催(11 月)と会報の発行を行っています。また、年に数回のゴルフコンペを開催しています。さらに、フェイスブック上で「多治見北高同窓会」(全国)のグループを作って情報交換の場としています。グループ人数は現在約 180 人で、東京支部の会員も多(左、下、昨年の総会懇親会での集合写真)



時は中止やむなしとの声もありましたが、なんとか代わりの場所を確保し開催に漕ぎつけ、最終的には 138 人(来賓を含む)という多くの方々にお集まりいただきました。フォーラムの神奈月さんと酒見由梨さんのトークショーでは、高校時代のエピソードをまじえながらの軽妙な掛け合いに会場は大いに盛り上がりました。多治見から出張のうながりも加わり、二陣に分けて集合写真を撮影しました。

昨年の事態には女子栄養大および直営レストラン松柏軒さんも大変申し訳なく思っ



数参加しています。

携帯電話やインターネットの普及で地元と東京の距離感は縮まりましたが、同窓会を通じた繋がり、絆は心のよりどころの一つになりうるのではないかと思います。異世代、異業種交流

会としての役割も大きくなってきています。首都圏在住の若い世代の皆さん、そしてあらゆる世代の皆さん、ぜひ東京の同窓会につながってみてください。



本部事業のさらなる充実をはかります

多治見北高等学校同窓会 会長 酒井 忠造 (5 回生)

東京支部の皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。

「サッカー王国」ブラジルで開催されたワールドカップはドイツが優勝を果たして幕を閉じました。前大会と比較し、上位チームを見れば、守備を重視し、カウンター攻撃の精度を向上させていました。ボールを奪った瞬間に5～6人がトップスピードのままパスをつなげシュートに持ち込みゴールする、その迫力は、素晴らしいものでした。前大会で、優勝したスペインは一次リーグで敗退してしまいました。ショートパスでボール支配率を高める方法が4年たつて、上位国の守備戦術の進化に凌駕されたということです。今や、サッカーは、速攻守備の時代に入ったようです。また4年後のワールドカップが楽しみになります。日本も今回は一度も勝つことが出来ず、自分たちの実力がどんなだったか思い知った結果となりました。次回の監督をメキシコから招いたようですが、日本人の監督では駄目なのではないでしょうか。徹底した戦略と個人技能の訓練は日本人が得意のはずなのです。

しかし、日本からブラジルへ行ったサポーターは世界中の賞賛を得ました。試合観戦後、スタンドに散らかったごみをきれいに掃除して帰ったからです。日本人が当たり前と思っていることを、海外の人の多くが「日本人のマナーは素晴らしい」といいます。これは世界に誇れる日本の「スポーツ文化」といえます。



昨年もそうでしたが、この夏にはそれ以上に次から次へと湧き起る積乱雲による大雨（バックビルディング現象）が大きな被害をもたらしました。特に広島の新興住宅地隣接の山からの土石流は、74名の犠牲者を出す大惨事となりました。土砂崩れの恐れのある箇所は全国に何十万か所あるとの事、岐阜県にも一万何千か所あると言われております。岐阜県高山市も8月16日午後から降り始めた記録的な大雨で169か所の崖崩れが起きましたが、幸いにも人的な被害がありませんでした。その背景にはきめ細かい避難勧告を知らせる独自のシステムがあったようです。

昨年もそうでしたが、この夏にはそれ以上に次から次へと湧き起る積乱雲による大雨（バックビルディング現象）が大きな被害をもたらしました。特に広島の新興住宅地隣接の山からの土石流は、74名の犠牲者を出す大惨事となりました。土砂崩れの恐れのある箇所は全国に何十万か所あるとの事、岐阜県にも一万何千か所あると言われております。岐阜県高山市も8月16日午後から降り始めた記録的な大雨で169か所の崖崩れが起きましたが、幸いにも人的な被害がありませんでした。その背景にはきめ細かい避難勧告を知らせる独自のシステムがあったようです。

化石燃料燃焼による大気汚染、地球温暖化がもたらす影響は、異常気象、海面上昇をもたらし、それによっておこる被害ははかり知れません。経済発展の名のもとに地球は破壊され続けています。大地を掘り起こさないことが地球を守ることでないでしょうか。

8月14日、北高創立2年目から10年ほど教鞭を取っていただいた若尾昇先生(89歳)がお亡くなりになりました。先生は、1回生から10回生までの軟式野球部の監督でした。多治見北高野球部を県内上位ランクのチームとしてご指導いただきました。私(5回生)も野球部員として3年生の夏までいましたが、県大会3回の優勝経験を持っています。ありし日を偲びご冥福を祈るべく、大勢の教え子が、通夜に、葬儀に参列いたしました。

毎年8月の第4土曜日「若尾先生を囲む会」を多治見で10年ほど前から40名ほどの出席を得て開催しておりましたが、ついに今年は「徳ぶ会」になってしまいました。今後も続けようという事になりました。

多治見北高同窓会は、今年3月、新たに第54回生を迎えました。今や卒業生は18,000名を超えました。

同窓会今年度の事業について、御報告致します。

1. 会報「北辰」は10月半ばに発行を予定しております。今回第15号となります。
2. 恒例として行っております在校生への卒業生による「講演会」は講師に日本アイ・ピー・エム株式会社社長職の阿部仁美さん(旧姓小本曾)(23回生)にお願いが出来ました。日時は、10月20(月)午後1時15分からです。
3. 第15回北辰会ゴルフ大会の実施。

今年度は第15回生・25回生を幹事をお願いをして、9月15日(月)クラウンカントリー倶楽部にて100名を超える参加で開催いたします。

(写真左、昨年の虎渓山清掃。下、清掃後の法話と懇親会)



4. 文化事業として、同窓生のプロジャズ歌手、栗田麻利子さんとそのクインテットそして、北高吹奏楽部 33 名も共演するジャズコンサートを多治見文化会館大ホールで開催いたします。日時は11月3日(月) 開場16時30分、開演17時です。

昨年までは四回ほど「虎溪山の清掃と法話・懇談会」を行ってきましたが、参加者が200名を超え、大勢になったこと、他の清掃ボランティアが増えたことなどがあり、思い切って1,000人入れる文化会館大ホールを借りました。入場無料で、誰でも入れます。是非お出かけいただきたいと思います。

5. 「東日本大震災義援金」寄付の実施

会員皆さんから寄せられる「協力金」の5%を義援金として日本赤十字社を通して寄付を致します。今年で3回目になります。5月に「10万円」を送付いたしました。10年間続ける事を決めています。

多治見北高同窓会の財政基盤は脆弱ですが、在校生の部活動への援助もしたいし、地域社会にもつながるようにとも考えております。どうぞご理解、そして御支援下さい。

最後に東京支部の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

関西支部、今年は奈良で総会開催

多治見北高等学校同窓会関西支部 会長 水野 尚之 (13 回生)

東京支部の皆様、こんにちは。関西支部の活動報告をさせていただきます。第23回を数える平成26年度の関西支部総会・懇親会は、6月8日(日) 午前11時から、奈良の「春日ホテル」で開催されました。修学旅行でおなじみの、たくさんの鹿が歩きまわる奈良公園に隣接したホテルです。関西支部は、大阪、神戸、京都、奈良など名だたる観光地がエリアにありますので、毎年集まる場所を変えて、場所そのものの雰囲気を楽しみ、懇親会後には付近の散策をしています。今年度は出席者も37名となり、風情ある立地で賑やかな会になりました。これもひとえに、先輩方、事務局の土本美智子さん(13回生)、会計担当の平木えり子さん(18回生)をはじめとする会員の皆様が、積極的に声掛けをし、準備をしてくださったおかげと感謝しております。関西支部の会員は現在240名で、東京支部に比べてかなり小じんまりとしています。ただ、昼食をはさんで行なわれる支部総会と懇親会、そしてその後の散策は、関西ならではの明るさとノリで、いつも賑やかです。

総会には、遠路にもかかわらず同窓会本部から酒井忠造会長、伊藤恒一副会長、そして東京支部からは原田英明会長のご出席を賜りました。また、加藤知之多治見北高校長、和田



修同校教諭、そして松田嘉久同校元教諭という恩師のご臨席を賜り、様々な世代の同窓会員がそれぞれの北高の思い出を共有することができました。ご来賓のどの方々も、ユーモアにあふれたご挨拶によって、関西支部の会員を温かく激励してくださいました。加藤知之校長からは、現在の多治見北高のご指導の様子や生徒たちの活躍などを詳しくご説明いただき、同窓会として大変参考になりました。

今年度の総会においても、記念講演が行なわれました。今回は平成25年秋の叙勲において瑞宝中授章を受賞された鈴木満さん(1回生・元公正取引委員会主席審判官)が、「消費者の知っておきたい食品表示」と題してお話してくださいました。「『片栗粉』は何から作られる?」、「『宇治茶』とは?」、「『吉野葛』とは?」など、クイズ形式で分かりやすく進められ、我々消費者にとって大変興味深く有益なご講演でした。

今年度の総会では、関西支部同窓会費について話し合いました。現在の関西支部の実際の収入は、以前に口座からの会費(年3000円)引き落としに同意していただいた20名ほどの方の会費と、本部からの補助、およびご寄附によるものです。この「不平等」を解消するため、また事務局のご努力(案内状や連絡を可能な限りEメールで送信する等)によって支部の繰り越しが毎年70万円以上あることを考慮し、幹事会から「次年度から支部会費を徴収しない」という提案が出されました。特に異論もなく、この提案は承認されました。また、前年度の会計報告も承認され、総会は終了しました。

懇親会では、13回生の土本正明さんが司会・進行をしてくださりました。原田東京支部会長、松田元教諭、和田教諭、伊藤副会長がそれぞれユーモアあふれるご挨拶をくださり、吉田美喜夫さん(8回生)の乾杯のご発声の後には、関西支部のいつもの和やかな会食、酒宴となりました。ざっくばらんな会話の中にも、お互いの健康を祝いあい、即興でマイクを握られる人



自由にツッコミを入れる、いかにも関西風の会が2時間ほど続きました。今回は、大竹正道さん、小木曾哲さん、平山政雄さん、宮島照久さん、中野香代さん、富田悦子さんという26回生の「若手」のご参加があり、例年に増して盛り上がりました。最後に、大村厚子さん(1回生)と堀敦子さんが懐かしい思い出を交えたお話で、会を閉めてくださいました。こうして懇親会が盛会のうちに終わった後、斉藤誠先生ご寄贈の同窓会旗とともに、記念撮影を行ないました。前田平八郎さん(2回生)が

撮影された美しい写真をご覧ください。

その後、いつものようにほろ酔い加減で、春日ホテルに隣接する奈良公園を散策しました。猿沢の池を見た後、鹿に煎餅をあげながらいくつかの寺や池を巡り歩くうちに、いつも間にか東大寺に着いてしまいました。近くで見ると、やはり大仏はとてつもない大きさでした。ここを訪れるのは修学旅行以来という方もおられました。天候にも恵まれ、今回も、同窓会らしい楽しさと幸福感に満ちた散策になりました。

多治見北高校のさらなる発展をめざして

多治見北高等学校校長 加藤 知之



多治見北高等学校同窓会東京支部同窓生の皆様には、ますますご活躍のことと心からお慶び申し上げます。日頃は本校の教育に対して格別なご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。私は、鈴木康博校長の後任として、華陽フロンティア高等学校より転任してまいりました。生徒一人ひとりの確かな自己実現を図るとともに、多治見北高等学校のさらなる発展のため精一杯務める所存でございますのでよろしくお願いいたします。

さて、入学式の式辞の中で、『皆さんが憧れて入学した本校は、昭和33年に創設、今年58年目を迎える、東濃学区の中核を担う進学校であり、校訓「自主、自律、自学」のもと、文武両道の気風を現在に引き継ぎ、豊かな人間性を育むとともに、生徒一人ひとりの「確かな自己実現」を図ることをめざして、教育に取り組んできました。そして、地域はもちろん、日本、さらには世界で活躍する18,000有余人の人材を輩出するなど輝かしい成果を挙げ続けています。』と話しました。赴任してから数か月がたちましたが、まさにそのとおりであると実感する毎日です。

毎日の65分の授業、早朝の北辰講座、土曜講座、岐阜県先端科学技術体験センターや核融合科学研究所等の地元の研究機関を利用した取組等々、学習に向かう生徒の目は真剣です。80%に近い生徒たちが加入している部活動では、生徒の練習

でおり、まさに文武両道の輝く生徒の姿を頼もしく見ております。

同窓生の皆様にご協力をいただき、PTA主催で行います「大学見学会、「同窓生による講演会」は、学校職員だけでは行えない貴重な行事となっております。夏休み実施する「大学見学会(東京大学、京都大学を隔年で訪問、今年度は京都大学を見学)は、実際に大学キャンパスを訪問し大学へ進学している同窓生の方と懇談することにより、進路意識を確立にする貴重な機会となっております。「同窓生による講演会」は、今年度、日本IBMでご活躍の阿部仁美様(23回生)からお話をさせていただきます。社会の第一線で活躍されている方のお話は、生徒の将来の夢を育み、職業観を醸成する契機となっております。今春の卒業生たちが、確固たる目標をもって最後まで粘り強く頑張り、東京大学、名古屋大学をはじめとして各自の進路目標を実現できたのも、このことをはじめ同窓生の皆様の様々なご協力のおかげと感謝申し上げます。

繰り返しとなりますが、同窓生の皆様が育ててこられた本校の伝統を守りながら、地域や保護者から寄せられる期待にも応え、校訓「自主・自律・自学」の精神を「礎」として、人間性においても、学力面においても生徒一人ひとりを伸ばし、諸先輩方の後継者として社会に貢献できる人材を育てることができそうです。教職員一同一丸となって努力する所存ですので、どうか倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



なお一層故郷へのご支援ご協力を！

多治見市長 古川 雅典 (11 回生)



はじめに

多治見市と笠原町が合併をして8年が経過しました。合併の際に10年で新しい多治見市を作り上げる新市建設計画を策定しました

残り2年で様々な事業を完成させる仕上げに時期に入ってきています。本年度は、多治見市制74年で最大の予算規模となっています。皆様のご意見をしっかりと伺いながら住みよいまちづくりを進めてまいります。

大きく進化する多治見

平成25年7月3日に起工式を行った多治見市役所駅北庁舎の建設が順調に進んでおります。平成27年1月4日には、竣工式を迎え、1月5日からオープン予定です。

駅北庁舎では、市民課、税務課などの窓口部門を集約することでワンストップサービスを実現するとともに、子どもに関すること、健康に関することは、すべて同じフロアで解決できる態勢としていきます。また、多治見駅南側の再開発事業についても議論を始めました。都会回帰を駅周辺で留め、コンパクトなまちへと作り変えていきます。

また、新火葬場、(仮称)星ヶ台保育園についても着々と建設の準備が進んでおります。

合併時に笠原町から強い要望のあった多治見市モザイクタイルミュージアムについても名古屋市で記者会見を行い、注目を集めました。笠原庁舎を取り壊した後、笠原中央公民館の広場も含め、一体的に整備していく予定です。

このように残り2年で最大の仕事をしながら、全てを仕上げてまいります。

眞子様が名誉総裁

9月12日から10月19日の会期でセラミックパークMINOをメイン会場に国際陶磁器フェスティバル美濃'14が開催されています。60の国と地域から2,579点の作品が集まりました。今回は、記念すべき第10回目のフェスティバルということで名誉総裁に秋篠宮眞子内親王殿下にご就任いただき盛大に開催されています。

さらなる発展

多治見市では、今年度、高齢者がさらに元気になるプロジェクトに取り組んでいます。TGK48(多治見元気な高齢者の頭文字)というユニットを作り、高齢者の皆さんに様々なイベントの



場で歌って、踊って、食べてもっと元気になっていただきます。8月3日に開催された夏まつり「おどらっせ」の中で選抜により選ばれた20名がステージデビューいたしました。デビュー当日は、多くの報道陣が詰めかけ、注目度の高さを感じました。

今後は、市内のイベントや名古屋の三菱電機のプロバスケットチームのハーフタイムショーなどでヒップホップダンスを披露しながら、元気な高齢者が増えるよう啓発活動を繰り返していきます。

今年度よりふるさと納税制度の見直しを行いました。これまでわかりにくいとのご意見を多くいただいていた内容を見直し、名称も「元気な多治見!うながっば寄附金」としました。寄付先もこれまでの分野別からさらに細かくし、事業に対する寄付が可能となっています。また、これまでの「納付書」「口座振込」「現金書留」に加え、インターネットでの手続きによるクレジットカードやコンビニ納付が可能になりました。さらに、1万円以上納付いただいた方には、記念品もお渡ししております。

是非、東京でご活躍中の多治見北高等学校卒業生の皆様もふるさとである多治見市にふるさと納税をお願いします。

世界の中心でご活躍の皆様には、今後とも、なお一層故郷多治見に元気を送ってくださいますよう、ご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

上と炎の国際交流
FROM YOU, FROM NOW, FROM HERE

10th Anniversary

 国際陶磁器フェスティバル美濃'14
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL '14 MINO, JAPAN

公式ガイドブック OFFICIAL GUIDE BOOK



多治見
Tajimi
瑞浪
Mizunami
土岐
Toki

INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL '14
MINO, JAPAN

世界最大級の陶磁器の祭典
One of the Biggest Ceramic Festivals in the World

今年もジャズコンサート 栗田麻利子さんと多北吹奏楽部のコラボで

毎年恒例の秋の同窓会本部イベントは、今年も趣向を変えてジャズコンサートを開催します。

ジャズヴォーカリストの栗田麻利子さん(38回生)と多治見北高吹奏楽部の共演で、会場も1,300人収容の多治見文化会館大ホールでの開催という大がかりなものです。東京支部会員の皆さんも、帰省を兼ねて参加されてみてはいかがでしょうか。

開催概要

日時：11月3日(文化の日) 開場 16:30 開演 17:00
会場：多治見文化会館大ホール
出演：栗田麻利子クインテット&多治見北高吹奏楽部 33名
※要整理券(当日分有り)
問い合わせ：Tel.0572-55-4049(酒井)

栗田麻利子プロフィール：

多治見北高校卒業後、大阪大学文学部に進学。その後ボストンにあるジャズの名門、パークリー音楽大学に留学。Professional music major を首席で卒業。帰国後「第5回さいたま新都心ジャズボーカルコンテスト」にてグランプリを受賞。2012年にデビューアルバムセカンドアルバムを続けてリリース。歌、作曲、編曲、そしてボイストレーナーとして多方面から注目されている、若手ジャズシンガーソングライター。

ジャズコンサートのご案内

2014・11・3

開場 16:30 開演 17:00



《共演》
多治見北高
吹奏楽部
33名

入場無料 ※要整理券！
多治見文化会館にでも発行
10/1~10/12

会場：多治見文化会館大ホール
出演者：栗田麻利子(ジャズ歌手)
(多治見北高同窓生) 及び栗田麻利子クインテット
多治見北高吹奏楽部33名
主催：多治見北高同窓会
問い合わせ：TEL0572-55-4049(酒井)

栗田麻利子
(あわだまりこ)
《プロフィール》
多治見北高校卒業後、大阪大学文学部に進学。その後、ボストンにあるジャズの名門、パークリー音楽大学に留学。Professional music major を首席で卒業。帰国後「さいたま新都心ジャズボーカルコンテスト」にてグランプリを受賞。その他受賞歴多数。2012年にデビューアルバム、セカンドアルバムを続けてリリース。歌、作曲、編曲、そしてボイストレーナーとして多方面より注目されている、若手ジャズシンガーソングライター。

同窓生だより

7回生

連休明けの週末夕方、都心の居酒屋(ガラ空き)で恒例の7回生の同期会を開きました。

我々が北高に入学したのは東京五輪の1964年で、今年が丁度50周年になります。今回集まった21人も全員とうとう「高齢者」となり、未だ現役、悠悠自適、孫や家族の世話で暇なし等、各人各様ですが、皆ますます元気で、愉快地に食べ飲み話し(愚痴り)、来年の無事な再会を約したことでした。[伊東記]



23回生

23回生は、50歳を迎える今年になって、やっと少数ながらも「プチ同窓会」として集合しました。8月14日、ミッドタウン近くの六本木にて5名、当日の写真を掲載します。

北高卒業以来の顔合わせもあり、30年ぶりに聞く名前が沢山登場し、「あの人は今」の話題で大いに盛り上がりました。時間が経つのもあっという間で、次回はもっと抜げようね、と再集合を約束しました。東京地区在住の23回生の皆さん、どうぞご一報ください。第2回の23回生プチ同窓会でお会いしましょう。[阿部(旧姓：小木曾)仁美]



第24回多北東京総会・懇親会 アクシデント乗り越え開催

昨年11月16日(土)、第24回東京支部総会・懇親会をパセラリゾーツ銀座「BENOA」で開催しました。

すでに皆さんご承知のことかと思われませんが、今回は急遽会場変更しての開催でした。本来女子栄養大学(駒込キャンパス)での開催を予定していましたが、前日の昼頃に、翌日の会場が使えないとの連絡が入りました。女子栄養大学の坂戸キャンパスで感染症が発生し、開催を予定していた駒込キャンパスも結局閉鎖されたのです。(当初は飲食禁止だけでした。大学のホームページによると15日の19時の段階でノロウイルスと特定されたようです)私たちの総会・懇親会も一時は中止やむなしとの声もありましたが、なんとか運良く代わりの場所を確保し開催に漕ぎつきました。

それからは手分けして、来賓関係をはじめ全ての参加予定者への会場変更の連絡を、当日まで追求し、また、女子栄養大に搬入済みの物資の銀座への移送、同大守衛室に会場変更のチラシを置かせて貰う手配、銀座会場での打合せなど、必要な作業をやりきりました。その結果、連絡の間に合わなかった数人の方々が一度は女子栄養大へ足を運ばれるということもあったものの、最終的に137人(来賓を含む)という多くの方々にご参集いただきました。

これを実現できたのは執行部、幹事回生、各理事の協力態



勢およびキャンセルしなければいけない側に立たされてしまっ
ご心労も大きい中、誠実かつ精力的に対応して下さった女子栄養大関係者、緊急対応を見事にこなして頂いた銀座会場関係者の皆さん、そして何より急な変更を乗り越えて参加して下さった参加者の皆様のおかげでした。困難を乗り越えて開催にこぎつけただけに、とても感動的な集まりになりました。

来賓は、本部から酒井忠造会長、伊藤恒一副会長、母校から鈴木康博校長、和田修先生、関西支部から前田平八郎さん、多治見市から古川雅典市長、柚木崎秘書、宮本秘書、牧戸秘書、恩師の松田嘉久先生、大嶽和好先生、伊佐治恒久先生、東濃会から中島千尋瑞浪高校首都圏同窓会代表らをお迎えしました。

総会では、第23期事業報告及び決算報告、監査報告、第24期事業計画及び予算案について審議・了承されました。

恒例のフォーラムは、「エンターテインメントについて語る」と題しての神奈月(奥村聡司・24回生)さんと酒見由梨さん(24回生)によるトークショー。神奈月さんは高校時代から先生のものまねをしたりして学校中の人気者だったそうで、そのころの数々のエピソードから今日にいたる芸能界の裏話など、酒見さんとの絶妙な掛け合いでの多彩かつ軽妙なトークに会場は大いに盛り



上がりました。

多治見から出張のうながっぱも加わり、人数が多すぎるため二陣に分けて集合写真を撮影しました。

懇親会は原田会長の開会の挨拶および乾杯の発声で始まりま
した。会長は今回の緊急事態の中での開催の経緯に触れ、「ご縁に太い細いはない、どんなご縁も大切に。同窓会もそのご縁の一つですから大切にしましょう」と話しました。続いて来賓の鈴木校長、酒井同窓会本部長、古川多治見市長からご挨拶を頂きました。

この日の参加者137人は、設立総会を除いては過去最多となる人数で、1回生から新卒生まで幅広い年齢層の方々に参加して頂きました。殊に46回生以下の若い人たちからも18人の参加があり、会場の各所で世代を超えた交流が見られました。

多北東京ゴルフコンペにご参加ください 今年は3回開催。(1/25、7/5、10/13)

今年の多北東京ゴルフコンペは3回の開催となりました。1回生から31回生まで幅広い参加で、おおむね3~4組での開催でした。初心者でも気兼ねなく参加できる気楽なコンペです。今後も引き続き開催していくために、まずはお声かけをするための名簿を充実させたいと思います。の初心者、ベテランを問わず一人でも多くの皆さんのエントリーをお待ちしております。担当幹事:渡辺啓一(12)、鈴木清二(13)までご連絡ください。メールにてどうぞ:info_hokushin@tajimikita-tyo.com

第25回東京支部総会・懇親会のご案内

気象が落ち着いた夏を経て、いよいよ秋も深まりつつある今日この頃ですが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から多北同窓会東京支部運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年は東京支部総会および懇親会を下記の通り開催します。昨年は不慮のアクシデントにより、会場変更を余儀なくされましたが、今年こそはとりベンジ開催です。懇親会場の「松柏軒」(大学直営レストラン)は伊達政宗公の下屋敷として築かれたという、由緒を残すものです。味はもとより栄養バランスにも配慮された、女子栄養大学ならではの料理の数々には必ずご満足して頂けるものと確信しています。

また、ご家族のご同伴にも配慮をさせていただきました。ご夫妻での参加、あるいはまだ手が離せない小さいお子様をお持ちの同窓生の方、日頃忙しくてなかなか交友を拡げる場に参加する機会がないという方も、この機会を是非ご利用下さい。ここでの繋がりが仕事や生活を一層充実したものにしてくれるかもしれません。お知り合いの同窓生もお誘い合わせの上、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

多治見北高同窓会東京支部総会実行委員会 (15、25 回生)

記

日 時：平成 26 年 11 月 15 日 (土曜日) 午後 2 時～6 時 (1 時 30 分開場)

会 場：女子栄養大学 駒込キャンパス 東京都東京都豊島区駒込 3-24-3 JR 駒込駅より徒歩 3 分 (約 350m)

<プログラム>

- ・総 会：午後 2 時 00 分～2 時 30 分
- ・フォーラム：午後 2 時 45 分～3 時 45 分 講師 高木 浩光氏 (25 回生)

講師プロフィール：(独)産業技術総合研究所 主任研究員 内閣官房情報セキュリティセンター併任

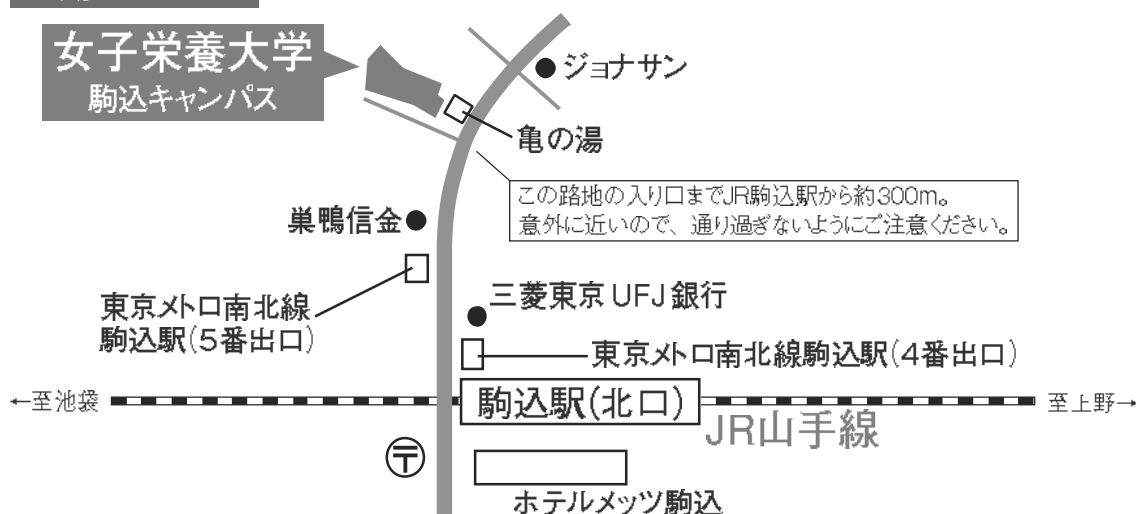
演題：「あなたの情報は狙われている！ 守る術(すべ)はあるのか？」

聞き手 長谷川 隆氏(週刊東洋経済 前編集長) 他

心当たりのない高額商品のダイレクトメール、関心のある商品広告が次々と出てくるネット広告。世間をにぎわせたベネッセの情報漏洩事件。個人情報をめぐる話題は事欠きません。個人情報とはそもそも何なのか。ネットやスマホのセキュリティはどこまで安全なのか。この分野の専門家である高木浩光氏が解説します。

- ・懇 親 会：午後 4 時 00 分～6 時 00 分 (於：松柏軒/女子栄養大学 4 号館 5 階)
- ・懇親会費 一般 6,000 円、30 歳未満 3,000 円、学生 1,000 円 (新卒業生は無料)
同伴家族 3,000 円 (但し高校生以下無料)
- ・年会費 一般 2,000 円 学生 0 円

会場へのアクセス



編集委員 愛知正人(13回生)、原田英明(12回生)

<ホームページアドレス> <http://www.tajimikita-tyo.com/> <メールアドレス> info_hokushin@tajimikita-tyo.com